

ゴア州上下水道整備計画【インド】

施策所管局課 国別開発協力第二課
 評価年月日 平成 30 年 4 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	インド
(2) 案件名	ゴア州上下水道整備計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日, 供与条件などを含む	<p>ゴア州において, 既存のサラウリム上水道体系における上水道施設の改修・拡張, マルガオ市, マプサ市, 北部海岸地域の下水道施設の新設・拡張を実施することにより, 急増する水需要に対応する安全かつ安定的な上下水道サービスの提供を図り, これによって同地域の住民の生活環境の改善に寄与するもの。</p> <p>案件の内容 ・上水道施設及び下水道施設の整備・改修 ・コンサルティングサービス</p> <p>ア 閣議決定日: 平成 19 年 8 月 10 日 イ 供与限度額: 228.06 億円 ウ 金利: 1.3% (下水道部分については, 0.75%, コンサルティングサービス部分については, 0.01%) エ 償還 (据置) 期間: 30(10) 年 (下水道部分については, 40(10) 年) オ 調達条件: 一般アンタイド</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初, 2005 年時点で, ゴア州の既存の上水道施設の処理能力は日量約 39 万トンであり, 人口約 140 万人, 観光客約 180 万人 (予測) から推測された上水需要 (約 31 万トン, 2005 年) は満たしていたものの, 人口や観光客の増加, また生活水準の上昇に伴う上水使用量の増加による上水需給のひっ迫が見込まれていた。また, 下水道については, 2001 年の下水施設へのアクセス率がインドの全国平均では人口比で 28%であったのに対し, 州内の都市部人口比では 13%と低く, 衛生環境の悪化を招いていた。これらの状況に対し, インド政府は, 第 10 次 5 か年計画や国家水政策等において, 上下水道整備に対する公的投資の拡大を掲げ, 整備を進めていた。最新の国勢調査によると, ゴア州の人口は 2011 年時点で約 145 万人に増加し, また 2016 年時点での観光客数は約 630 万人にまで急増しており, 上水の需給ギャップ解消及び下水施設へのアクセス率改善が引き続き求められている。インド政府は 2017 年に発表した 3 か年行動計画において, 都市開発における課題として上下水道の不足を挙げており, 上下水道・衛生設備を整備する必要性が引き続き見込まれることから, 現在も本事業に関する社会的ニーズがある。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状 コンサルタントコンポーネントにおける不正・腐敗問題発生により, 事業が停止したことから, 事業が遅延していたが, 遅延に係る問題は解決し, 現在事業は順調に進められており, 本事業は 2018 年 11 月頃までに完了する見込み。</p>

<p>(2) 今後の対応方針</p>	<p>本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれており、事業の進捗を妨げていた要因は解決していることから、引き続き支援を継続する。</p>
<p>3 政策評価を行う過程において使用した資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html) ・ 国際協力機構の案件検索 (http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・ 国際協力機構の事業事前評価表 (http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html) ・ そのほか国際協力機構から提出された資料